



やさしさふれあいの西東京に暮らし まちを楽しむ

# 西東京

## 主な内容

- 来月から税の申告が始まります…4-5
- 平成26年度に採用する嘱託員を募集…6
- 本庁舎整備に関するご意見をお寄せください…7
- 胸部健診(肺がん・結核)…9
- パリテまつり…12

No.323

平成26年(2014)

1/15

市役所代表番号 ☎042-464-1311

発行/西東京市

編集/企画部秘書広報課 〒188-8666 東京都西東京市南町5-6-13

配布/シルバー人材センター ☎042-425-6611

詳しくはWebで [西東京市Web](http://www.city.nishitokyo.lg.jp)

検索

HPアドレス <http://www.city.nishitokyo.lg.jp/>

携帯電話 <http://www.city.nishitokyo.lg.jp/mobile/>



## ちょっとした支援と気遣いが

# 「手助けが必要な人」と「手助けする人」を結び付けます

### ヘルプカード

## 手助けが必要な人 (障害のある人)

市では、西東京市障害者基本計画を策定し、障害のある人への理解を深めるための取り組みを進めています。地域における支援の輪を広げるため、皆さんにヘルプカードを知って、障害者サポーターになっていただく取り組みを新たにスタートします。

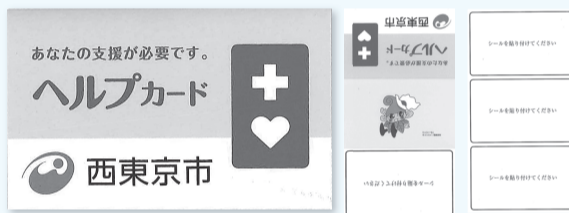
◆障害福祉課(☎042-438-4033)

### サポートバンダナ

## 手助けする人 (障害者サポーター)

#### ヘルプカードとは

障害のある人が携帯し、いざというときに必要な支援や配慮を周囲の人をお願いするためのカードです。手助けしてほしい内容を記載する欄があります。



#### ヘルプカードの配布

- ◆**配布対象者** 身体障害者手帳・愛の手帳・精神障害者保健福祉手帳の交付を受けた人、自立支援医療受給者、高次脳機能障害者、発達障害者、難病者(障害者総合支援法対象疾病・難病者福祉手当受給者)
- ◆**配布場所** 障害福祉課窓口(両庁舎1階)、障害者総合支援センターフレンドリー、保谷障害者福祉センター

#### ヘルプカードに記入

いざというときに手助けしてもらいたいことや、配慮が必要なことなどを付属の情報記載用シールに記入し、カードに貼ることができます。シールを4枚貼るスペースがありますので、必要と思われる情報を記入してカードに貼り付けてご使用ください(他人に知られたくない内容は記入する必要はありません)。

#### いつも身に付けて

ヘルプカードに加え、ストラップ、カードケースをお渡しますので、いつも身に付けておくと安心です。



首からさげて

バッグに入れて

#### サポートバンダナとは

障害者サポーター(ちょっとした手助けをしようとする人)が身に付けることで、障害のある人が声をかけやすくなり、安心につながります。

#### 障害者サポーター養成講座に参加

講座でヘルプカードなどの説明、市の取り組みを理解していただきます。申し込みは、電話・ファクスで下記へ  
※今後も講座・各種イベントを通じて周知を図り、障害者サポーターを増やしていく予定です。

◆障害福祉課(☎042-438-4033・FAX042-423-4321)

日時	場所
1月22日(水) 午前10時～	保谷庁舎4階
2月7日(金) 午後2時～	保谷庁舎4階
2月19日(水) 午後6時～	障害者総合支援センターフレンドリー

#### サポートバンダナの配布

障害者サポーターとして申し込みのあった人(市内在住・在勤・在学の人)に黄色いサポートバンダナをお渡します。

◆サポートバンダナは、西東京市独自の取り組みです。

◀いこいーなのイラストがデザインされた黄色のサポートバンダナ

#### いつも身に付けて

目立つ黄色の生地に、市のキャラクター「いこいーな」がデザインされています。障害のある人の目に留まりやすい部分に付けましょう。



バッグに縛って

腕章のように

スカーフとして

## ～ヘルプカードはこんなときに役立ちます～

### ヘルプカードの使用方法

手助けが必要になったとき、周りの人にヘルプカードを示してください。

手助けしてもらいたいことや、配慮が必要なことをヘルプカードを開いて示してください。

### 日常生活で支援が必要なとき

#### 道で迷ったとき

▶家族に連絡してもらおう

#### 突然の発作、病気するとき

▶救急車を呼んでもらおう

▶血液型や服薬・かかりつけ

医などを知ってもらおう



### 災害発生時

#### 周りの人に手助けを求めるとき

▶避難場所に誘導してもらおう

#### 避難生活が必要となったとき

▶周りの人に配慮が必要なることを知ってもらおう

